

那覇市新文化芸術 発信拠点施設 基本設計 ワークショップ概要

日時：平成28年10月1日（土）13：30～
会場：那覇市役所研修室



開催の概要:

今回のワークショップでは、これまで検討を重ねていただいた施設の機能や構成などを踏まえた上で、施設の様々な活用方法や、その実現に必要な条件等を考えていただきました。始めに先進施設で行われている色々な活動をスライドで紹介し、これまでの市民会館の概念を超えた自由な発想と多様な役割について学びを深めました。その後、グループに分かれて、施設でご自身や仲間と一緒にやってみたいことや施設の管理運営組織(団体)にやって欲しいことを色違いの付箋紙に書き出し意見を交わしました。また、それらの事業や活動を行うため施設に求められる条件を3つ考えてもらい、併せてグループ毎に発表を行いました。新たな施設がこれまで文化芸術に触れる機会の少なかった市民の方々にもその素晴らしさをお伝えするとともに、真に市民のための施設となるためのヒントを沢山いただきました。また、会の最後には、設計者より大ホールと小ホールの機能や設計の考え方について模型写真などを使ってご説明しました。

当日の全体の流れ

- 1 開会の挨拶
 - 2 当日の進め方について
 - 3 ミニレクチャー3つの事業事例
 - 4 グループワーク
どう使いたいかな!
どんな事業を行ってみたいかな?
 - 5 とりまとめ、グループ発表
(グループ発表、設計者よりひとこと)
 - 6 事務連絡
・・・休憩・・・
- 7 最新案の説明

参加者 21人

ご意見の概要

4つの班に分かれてのグループワーク

やってみたくいこと

全体：

全体：「まちまーい」の様子を常設スクリーンで見る/那覇の祭りとの連携/弁当屋さんNO.1決定イベント/なんでも鑑定団in那覇(月1ペースの市民オークション)/市民のどじまん大会(子供/成人/高齢者部門)/市民映画祭(作品を全国公募)/市長と市民のトークイベント/市民団体が行うワークショップイベント(活動紹介)/市民参加のフリーマーケット/健康関連イベント/市民によるプレゼンテーションイベント(ヒルズブレイクファストの様な形式)/高齢者対象の囲碁、カラオケetc...月例会/男子対象の料理教室/ビデオ収録及びネット発信/那覇のコミュニティメディア(ラジオ、地域自治会)の常設スタジオ/少年少女コーラス交流・国際交流/子供の演劇祭(りっかりっかフェスティバルの劇場)/子供達の表現力を育むWSの躍進/専属の劇団設立/大人のためのシアター/世界のウチナンチュ大会2021年拠点/東アジアの現代芸術・東アジア文化都市/市制施行100周年記念事業の拠点/観光農園(ゴーヤー、ナーベラー、etc...)/養蜂!収穫した蜂蜜販売(ex:バリ・オペラ座)/屋上菜園←収穫体験と料理体験も/テレビラジオ放送/結婚式の余興コンテスト(笑)/ジュニア作曲・指揮コンクール/ジュニアジャズフェスティバル/小学校の見学実習(発表会も)/姉妹都市等の文化交流イベントの展開/プロとwinwinの関係で協働できるように/文化協会あげての総合イベント事業(期間を設けて)/児童向けのアウトリーチ(プロを活かす)/若年層向けの島野菜に触れるイベント(料理まで)/壺屋焼、紅型を活かした施設デザイン/子ども~高齢者毎に参加型の演劇・音楽教室/外でのダンスレッスン/公演事業費の支出/沖縄県の文化予算増

ホール：

早朝公演割引/ストレッチャーでも見られる客席/子供参加型の公演(子供が主役の演劇)/芸能、洋楽の支援公演/学校の学習発表会/参加型の市民劇/オーケストラによるアウトリーチ、音楽クリニック、市民リクエストコンサート/各自治会芸能祭/鶴劇マナーを題材にした劇を地域劇団がやる/あけもどる総合文化祭(ハワイアンカルチャー部会、古典芸能部会等...)

ウナー：

子供達への読み聞かせ/ファッションショー/納涼祭り/古本市

練習室：

各種セミナー/稽古場での子連れ音楽コンサート、すごくいい!演劇も是非!/スタジオ練習場として楽器演奏(ダンス等)/世界のうちなーんちゅ大会に向けたリハーサルや合同練習/飲食しながら聴けるコンサートやライブ♪

やって欲しい事業や活動

全体：

近くのホールや緑ヶ丘公園とのイベント/那覇大綱挽まつりのお客様の呼び込み/防災体験イベント(疑似避難生活体験)/那覇総合芸術祭など/コミュニティバスを活用/一般学生とプロ・アマ関係なく参加できる音楽イベント/ミス・ミスター那覇コンテスト/100歳のお年寄りを皆で祝うイベント/祝日関連のイベント/子供達と共にゲーム(ピンポンやバドミントンetc...)ができる施設/イベントをLive配信又は収録映像をYouTubeにアップして全国に発信!/エイサー専門の小屋(琉球村のような)/エイサーや伝統芸能がみられる常設演武スタジオ/専属の劇団・楽団設立と育成/入り時間は8時、出時間は23時まで対応/クラシックの室内楽/「おもろ」の踊り教室/人口や都市の規模に見合った事業予算/愛称の設定(公募)/空いている時間の有効活用/世界中の劇団を集める/教育講座/舞台技術の体験/B-1グランプリ/高齢者向け体操教室/空き部屋を貸して生け花教室や着付け教室(有料)/既存団体との地域拠点契約は是非!団体の育成にもなるし経営の一助となるのでは?/シンボルモニュメントの設置(集会所的に)/子供達がつくる音楽祭、演劇祭、美術展。スタッフワークショップも兼ねる(舞台、受付、チラシ等)/青少年のバックステージツアー(本番)/高校生のための「大人マナー教室」(葬式、結婚式、テーブルマナー、コンサートマナー)/近くの公園通りでのパレード(地域連携)/モノレール駅からのシンボルロードを!/市民会館グッズ販売/県産品コーナー設置/フリーマーケット/「子供フェスタin那覇」拡大版でジュニアウィークを設定/「シルバーフェスタin那覇」シルバーウィークを設定/公民館と連携して子供の文化の貧困対策、居場所づくり/産業まつり/施設の無料開放日の設定/利用者がいない場合の駐車場の有料化/ギャラリーとオークション(県立芸大)/

今までやらなかったことをやるような発想の事業企画⇒飲み食いあり市内文化施設を一体化した大きな文化の祭りの展開を、収益に結ばれるような事業を可能にする(例：映像化販売、CD製作、文化グッズなど)/経営・営業のプロが必要/育成事業は研修だけでなく実践まで/テーマを定めてリレーイベントを年次事業にする(多様な文化ミックス)/市民文化の友の会を作り拠点に/一、育て交流 二、リレー「劇場フェスタ」開催/地域人材の活用/国際通り等のお店のアンテナワゴンを出す/アーティストinレジデンス/芸術文化の協働大使育成/一本筋の通った年間イベント/文化事業/朝早く(ラッシュ時)に安く又は無料でイベント(教室)実施⇒出勤の分散化/キッチンスタジオ/船(少年の船)で公演もいく/屋内外でストリートダンスができる場/施設全体を利用したイベント/市民劇団を作って!(アマチュア参加からレベルアップしたプロ集団に)/青年少年の船他県・他国へ自作舞台を持っていく/世界に発信するコンクール/情報センター⇄図書館、美術館連携/新作うちなー芝居脚本コンクール⇒フェスティバル展開/うちなーの文化を広げる事業/那覇市の文化・伝統・芸術に関する情報アーカイブ制作/小中学生の授業の一環として、ホールに親しむ環境を作る(教育委員会にやって欲しい)/ホールスタッフとしてのインターンシップ事業(中高生対象)

ホール：小学生向けの本物の公演/沖縄を舞台とした新作オペラ/劇団四季公演/沖縄の演劇(沖縄史劇・歌劇・幽霊劇・喜劇)/伝統芸能の継承のためのWS/ランチタイムコンサート/ホールで映画鑑賞会(有料)/年に何回かは有名なクラシックコンサートを開催(非日常生活の開放)/小ホールの空き活用として、○○商談会など/ガンジューホール/旗頭を展示(モニュメントも旗頭で)/綱引きの綱かめち棒の展示/青少年育成事業として合唱団、空手大会、うちなーぐち、青年少年の主張大会

練習室：大稽古場の公民館的活用。月一回の朝食会、一品持ち寄り(食も文化)/スタジオを作って欲しい

ウナー：デザインに那覇の伝統工芸を使う(壺屋焼、首里城、紅型、琉球漆器、琉球ガラス)/公演の衣装などウナーで展示/離島フェア/琉装による結婚式/ウナーで旗頭の練習を観光客に見せる(観光コンテンツのひとつとして)/日替わりでウナーで販売するワゴン車を増やす

その他：ニューイヤーイベント/市民会館で新年を迎える芸術祭/イルミネーション、プロジェクションマッピング(外部)

事業・活動をする為に必要な条件

アジアを含めたイベント(アジアの中の沖縄・那覇という視点)/PR・宣伝大使を選ぶ(人と人の様々なネットワークが大切⇒注目してもらう/シングルマザー・失業者など割引(心の栄養)/幅広い人々に優しい運営/会館プロデューサー/総合芸術監督/行政企業の支援体制/規制緩和(条例・規則)/市民サポート・ファンクラブ/便利さ/しっかりした管理運営団体(企画力・ネットワーク・経験・実績)/ネーミングライツ(命名権)/NPO法人による支援会の設立(設定管理とは別)/近隣店舗との連携/県内外の館との連携/専門スタッフの配置(アートディレクター、ファンドレイザー、資金、スポンサー)/地域ネットワークを作る/市民の信頼を得る/方針(市民ファーストの運営/運営プロセスの可視化と市民参加)/人材(例えば文化担当副市長の配置、市民の文化活動をつなぐ年間支援)/組織(市民団体、市内施設のネットワーク化、組織体制づくり、予算)

設計者、事務局からのコメント

設計者コメント：

短い時間でしたが、たくさんのアイデアを出していただきました。大ホールや小ホール、練習室での芸術文化活動だけでなく、ウナーを市民交流の場、市民の居場所づくりとして利活用することや屋上広場を活かした食文化活動まで、建物全体に賑わいがあふれる提案がたくさん伺えました。このことから市民の皆さんがこの施設に寄せられている期待の大きさを感じたところです。また、伺った事業や活動を実現していくために必要なこととして、専門人材の登用や事業資金の積極的な獲得、市民ネットワークの構築や信頼・絆づくりなどがあげられました。まさに新文化芸術発信拠点施設が、文化や芸術の中核拠点になるだけでなく、県都那覇のまちづくりの拠点、市民の広場となることが期待されているように感じられました。今後は、建物としての設計と並行して検討される管理や運営の基本的考え方とも情報を共有しながら設計を進めて行く予定です。

事務局コメント：

完成後の施設活用の可能性を幅広く検討しながら建物の設計を進めることは非常に重要です。ご提案いただいた様々なアイデアを活かして具体的な施設の設計に工夫を凝らしたいと思います。また、各グループでの意見交換の中でも、多様な利活用を行うことで、文化芸術の振興のみならず、本市の抱える多くの課題解決へのアプローチが出来るのではないかと感じました。新たな施設が、人々の生活をより良い方向へ変化させることが出来るよう管理運営を含めて引き続き検討してまいります。このことに関しましては、年明けに基本設計の内容報告を兼ねた、管理運営について考えるワークショップを追加開催することを提案しました。詳細については、決まり次第、皆様へお知らせしますので、こちらへの参加もぜひお願いいたします。



ミニレクチャーの様子



グループワークの様子

説明者 「香山・久米・根路銘設計共同体」

事務局 那覇市市民文化部文化振興課 新市民会館建設室 (新文化芸術発信拠点施設整備事業担当)

【問い合わせ】

〒900-8585

那覇市泉崎1-1-1

那覇市市民文化部文化振興課

新市民会館建設室

(新文化芸術発信拠点施設整備事業担当)

電話:098-917-2395

Fax:098-917-1382

e-mail:

c-bunka001@city.naha.lg.jp

今後の開催予定

第5回 市役所研修室

・基本設計取りまとめ案の検討
・意見交換

